

# 【農業委員会の委員】被推薦者・応募者(最終)(五十音順)

第二農業委員会 定数10人以内 被推薦者・応募者数 12人(1/2)

No.	推薦・応募の別	推薦を受ける者・応募する者							推薦をする者							推薦の理由 応募の理由				
		氏名	住所	職業	年齢	性別		経歴	農業経営の状況等	認定農業者	推進委員への推薦・応募 有 無	氏名もしくは法人・団体の名称	法人・団体等				個人			
						男	女						目的	代表者等の役職・氏名	構成員の数		構成員たる資格	職業	年齢	性別
男	女																			
1	応募	伊藤 英生	岡山市中区倉富	行政書士	49	○	平成23年9月 行政書士登録 平成24年7月～平成30年9月 石原一成司法書士法人、ファースト行政書士法人勤務 平成30年9月～ 行政書士という法務コンサルティングを自営 現在に至る。	農業経営の経験はありません。 自宅の近隣の畑を借りて、趣味で野菜づくりはしています。  行政書士業務で農地法に基づく申請・届出を行ったことがある。		○										行政書士として業務を行ううちに、行政側の視点、審査する側の視点に関心を持つようになった。 審査する側の視点で農地行政に関わってみたいと考えました。
2	推薦	井山 房子	岡山市東区西大寺中	無職	73	○	S50.4.1～H25.3.31 岡山市教育委員会勤務 H25.4.1～H26.3.31 くらしき作陽大学 子ども教育学部(准教授) H26.4.1～R1.3.31 くらしき作陽大学 子ども教育学部(教授) R2.4.1～R7.3.31 国立大学法人岡山大学教育学部附属幼稚園(園長) 岡山市教育委員会では5つの幼稚園及び教育委員会事務局に在籍 教育委員会事務局では7年間課長級の管理職として在籍			○	奥田 哲也				弁護士	64	○		井山房子氏は、岡山市教育委員会事務局では、課長補佐級職員として3年、課長級職員として7年、行政職の管理職として様々な業務に携わられており、様々な知見や深い経験を持たれている。 また、幼児教育の専門職として、くらしき作陽大学子ども教育学部の教授や国立大学法人岡山大学教育学部附属幼稚園の園長を歴任され、管理職としての高い知見を持たれている。 これまでの様々な経験を活かして、新たな視点から、地元岡山市東区を中心に、優良農地の確保と農地利用の最適化推進に大いに力を発揮されるものと期待する。	
3	推薦	浮田 孝允	岡山市東区宝伝	農業	82	○	昭和57年12月～平成7年2月 山南土地改良区理事 平成7年3月～平成19年8月 山南土地改良区副理事長 平成19年8月～現在 山南土地改良区理事長 平成11年7月～現在 岡山市農業委員会委員 平成29年7月～現在 岡山市第二農業委員会会長 平成18年3月 認定農業者に認定	畑 6900㎡ 作目 白菜、キャベツ、かぼちゃ		○	○	成本 俊一			岡山市議会議員	75	○		山南土地改良区の理事長として長年健全な運営に尽力され、指導力を発揮して、地域のために活躍されています。 長年農業委員会委員としても地域への農業、荒廃地解消等の取り組みに尽力されています。 又、地域の人望もある方です。	
4	応募	大森 美也子	岡山市中区兼基	農業	65	○	平成13年1月～平成26年12月 農業経営(専業) 平成26年12月～現在 株式会社に変更 役員 平成22年2月 認定農業者認定 平成27年5月～現在 女性農業士 平成29年7月～現在 農業委員 平成30年4月～現在 岡山県農業士	経営面積 母ハウス 35a 畑 30a 農福連携、自ら設立した就労継続支援A型事業所からスタッフを受け入れ、母栽培や作業を共にしています。令和3年岡山県内で初めて農福連携によるJAS認証(ノウフクJAS)を取得する。		○	○							私は、長年農業を続けてきた中で、農業者の高齢化により農業をやめられ遊休農地となるケースや後継者がいないまま担い手不足が進んでいる現在を実感してきました。若者も農業をしても収入や販路がないと言う理由で離農する例が見られ地域農業の将来に課題を感じています。 そのような中、岡山市農業委員会の活動に参加させていただき、農地利用の取り組みに触れる機会もあり、以前より農業生産、農業経営とあわせて若者や多様な人材が農業に関われる環境づくりも考え、遊休農地の解消や、担い手確保、地域農業の維持に貢献したいと考え農業委員に応募しました。		
5	応募	大森 勇二	岡山市東区浅越	農業・自営業	70	○	2010年5月～現在 農業経営 2013年3月 認定農業者認定 2017年7月～2020年7月 農地利用最適化推進委員 2020年7月～現在 農業委員会委員 など	田 10ヘクタール 米 妻、長男の補助有 など		○	○								地域の担い手不足、荒廃農地、農地集約等々の問題に対応したく考える為。	
6	推薦	岡本 五樹	岡山市東区中尾	農業	71	○	昭和49年4月～現在 農業経営 平成24年7月～現在 丸草出荷組合理事 平成26年7月～現在 農業委員会委員 (平成29年7月～令和2年7月農地利用最適化推進委員) 平成17年4月～現在 農業水利土木委員	水田 30a 米 畑 30a 果樹(ぶどう) 加温 5a ピオーネ 二重 5a シャインマスカット 一重 10a ピオーネ サイドレス 10a シャインマスカット		○	○	砂川右岸土地改良区	畑地かんがい施設の維持管理	理事長 尾崎 勝	436名	当改良区の地区内にある土地につき、第三条に規定する資格を有する者			農業水利土木委員、出荷組合副組合長として尽力され、地域農業の活性化に携わっている。 地域の人望も厚い人である。	
7	応募	岡本 岩男	岡山市東区瀬戸町塩納	農業	71	○	平成24年4月～現在 農業経営(専業) 平成26年12月～現在 岡山市認定農業者 令和5年7月～現在 農業委員会委員	経営面積 14ha 水稲 酒造好適米 約4ha 栽培		○	○								荒廃農地の解消 新規参入者の発掘 農業経営の法人化促進	

第二農業委員会 定数10人以内 被推薦者・応募者数12人(2/2)

No.	推薦・応募の別	推薦を受ける者・応募する者						推薦をする者							推薦の理由 応募の理由					
		氏名	住所	職業	年齢	性別		経歴	農業経営の状況等	認定農業者	推進委員への推薦・応募		法人・団体等				個人			
						有	無				氏名もしくは法人・団体の名称	目的	代表者等の役職・氏名	構成員の数		構成員たる資格	職業	年齢	性別	
8	推薦	片岡 靖登	岡山市北区岡町	農業	53	○	平成5年～ 家業の農業に従事 平成8年6月 法人化、認定農業者に認定される。 平成27年 代表取締役就任 平成29年～令和5年 農地利用最適化推進委員	水稲 40ha 小麦 20ha  山田錦 15ha 乾田直播 10ha	○	○	旭東土地改良区	土地改良事業	片岡 栄一	890人	農地を所有する者	農業	74	○	近年、農業従事者の高齢化に伴い、耕作放棄地や遊休農地が増加する中、地区町内会を始め、他地区の農地も耕作しており、現在、水稲40ha、小麦20ha、その他の作物も栽培している。また、農地利用最適化推進委員やJA岡山の経営管理委員も経験し、認定農業者としても熱心に農業に取り組んでおり、地域のさまざまなことに精通しているため、農業委員に適任であると思いい、推薦します。	
9	応募	岸本 博	岡山市中区兼基	農業	74	○	昭和52年4月から現在 農業経営(専業) 平成23年7月から平成29年6月 岡山市農協経営管理委員 平成26年7月から現在 農業委員会委員 平成27年6月から現在 認定農業者に認定 農業共済組合理事	田 約15ha 稲作 畑 25a 果樹	○	○									これまでの農業委員としての経験を活かし、これからも地域の農業の発展に貢献したい。	
10	推薦・応募	谷口 博	岡山市東区邑久郷	農業	76	○	1999(平成11年)10月 就農(米農家として) 2000(平成12年)4月 岡山県農業大学校にて就農研修 2001(平成13年)4月 認定農業者となり、苺栽培を始める 2012(平成24年)4月 後継者に苺栽培を引き継ぐ 2012(平成24年)10月 JICA派遣員となり、ドミニカ共和国で、苺栽培の指導に当たる 2015(平成27年)10月 JICA派遣員となり、スリランカで養蜂の支援活動を行う 2018(平成30年)3月 山南地区(太伯地区)の農地活性化の一貫として、耕作放棄地を活用し、レモン栽培を始める	2017(平成29年)年にスリランカから帰国。当時、中山間地域に約50アールの所有地があり、レモン栽培に取組みました。8年後の現在、耕作放棄地と化した田畑を開墾し、160本の栽培規模となりました。レモンの木が成木になるまでに10年程度、掛かることもあり、栽培規模としては、まだまだ道半ばです。まずは300本の栽培規模を目指しています。その目標が達成できた時に、レモン栽培農家として遣って行けるかどうかの判断ができる時だとおもいます。また、次の若い担い手を育てていくチャンスの時でもあると思います。さらには1千本以上の規模のレモンの産地を目指します。	○										山南地区の農地活性化に向けて取り組みたい。この課題解決の1つは農業従事者の高齢化が急速に進み、増加する耕作放棄地を後継者や担い手がいかんにして栽培規模の拡大を図っていくのか？ 2つ目は所有者不明の農地が相続登記の手続きがなされずに放置されている。この様な不明農地の問題をいかに解決して、農地としてあるべき姿に戻していくのか？を真摯に取り組みたいと思います。 更に、山南地区の若い意欲のある担い手にレモン栽培やその他の農業を引き継ぐために、その基盤づくりに徹力ながら尽力したい。農業委員となり、課題解決に取り組むたい。 山南地区では、ほとんどの農地が市街化調整区域の中にあります。その農地が耕作放棄され、雑木林となり、猪などの害獣の住処となっています。 レモン農家である私は、この様な地域の現状に憤りを覚えざるをえない。このままでは日本の農業は立ち行かなくなってしまいます。食糧安全保障の危機でもあります。一貫した生産加工販売(六次産業化)が進み、若い人や子供たちが賑わう地産地消の町になればと夢見ています。 現在、日本には物凄い面積の農地が耕作されずに放置されています。これは日本の資源でもあります。この日本で生産された農作物はメイドインジャパンでもあります。日本で生産された農作物或は加工品を海外に輸出する事も可能であると思います。	
11	推薦	西崎 圭吾	岡山市東区君津	農業	70	○	平成23年3月～現在 農業経営 平成26年4月～平成28年3月 岡山市津田地区農業水利土木員 令和3年3月 認定農業者に認定 令和5年7月～現在 岡山市第二農業委員会農地利用最適化推進委員	水稲 1.8ha (にこまる)	○	○	政田地区安全・安心ネットワーク	地域的な協同活動	会長 横山 孝太郎	1,500人	地域に住所を有する者				西崎氏は、地区民生委員であり、その活動は地域住民の信頼を得ている。元銀行員であり、その見識で岡山市農業委員会に貢献されると思う。将来の農業を見据えた考えを持っている。以上のことから、安全・安心ネットワーク会議に諮り、推薦するものです。	
12	推薦	雪本 泰嗣	岡山市東区西隆寺	農業	50	○	平成8年～現在 農業経営(専業) 平成29年7月～現在 農業委員会委員 平成30年1月 認定農業者に認定	水稲 4ha 果樹 40a 苺 20a	○	○	雄神学区連合町内会	地域協同活動	会長 井上 恭一	約3,200名 町内会数26	地域に住所を有する者				当地区で現在農業に従事し若手農業者として地区農業を牽引、又、消防団員など地区活動に欠かせない人材となっています。農業委員として3期目継続中であり、認定農業者となるなど先進的な取り組みを実施している農業者であり地域を越えての交流及び指導を積極的に行い知見も高く農業委員として適任でありますので推薦いたします。	